

社教連会報

発行 一般社団法人 全国社会教育委員連合

〒101-0065 東京都千代田区西神田3-1-8
日本弘道会ビル7階 TEL 03-6380-8540

《目次》

- ホームページをご活用ください 常務理事 稲葉 隆
- 茨城県からのメッセージ 実行委員長 稲葉里子
- 第66回全国大会茨城大会ご案内
- 北から南から
- 令和6年度 全国社会教育委員連合表彰 受賞者一覧
- 理事会・総会報告
- 事務局だより
- 令和6・7年度 社会教育研究大会開催地等一覧

ホームページをご活用ください

常務理事 稲葉 隆

皆さん、当会のホームページをご覧になったことがありますでしょうか。当会のホームページは都道府県・政令指定都市の社会教育委員連絡協議会等の会員に留まらず、全国の社会教育委員の方々、社会教育行政職員等に向けて情報発信をしています。以下はぜひホームページをご覧いただきながらお読みください。

<http://www.shakyozen.or.jp/>

トップページには更新内容のお知らせや更新履歴、ページの一番下には行事等の予定や、調査等の回答期限を記載したカレンダーを掲載しています。

左側にはバナーが並んでおり、「大会案内」①のページには、今年度の全国大会・地区大会の予定と開催要項、

そして令和7年度の大会予定を事務局で把握している範囲で掲載しています。予算要求等で開催地や開催期間を調べる際にぜひご活用ください。

また、下の枠外の「▽過去の大会」をクリックすると過去の全国大会・地区大会の大会要項を見ることが出来ます。

バナーの「出版案内」②では販売している機関誌『社教情報』、社会教育委員バッジ、資料等を紹介しています。注文は「書籍注文」③から行うことができます。

「ニュースレター」④と「社教連会報」⑤では、最新号とバックナンバーをPDFファイルで掲載しています。

「組織概要」⑥では社教連の概要として、組織図、団体概要、令和6年度の事業概要を掲載しています。会費納入等事務手続きの際にご利用ください。

そして「リンク集」⑦のページでは社会教育関係団体のリンク先を掲載しています。これまでは地区大会の開催案内ページへのリンクや、地区大会の記録動画等のリンクを期間限定で掲載した実績があります。いろいろな活用の仕方をご検討ください。

このホームページは15年ほど前、世の中にホームページが普及し始めた時期に制作しており、デザインなどいろいろの改善が必要だと考えています。

そして、当会と都道府県・市町村の社会教育委員の皆さん、社会教育行政の職員の皆さんとどのような情報を共有するかという検討も必要です。今年度、当会では「新規事業等構想検討委員会」を設置し、ホームページのことも検討してまいります。皆様からも「社教連にはこういう情報発信を期待する」という内容がありましたら、ぜひとも事務局にお知らせください。



ホームページトップページ

茨城県からの
メッセージ

人をつくり人をつなぎ地域をつくる 未来の社会教育

第66回全国社会教育研究大会茨城大会

実行委員長 稲葉 里子



猛威を振るった新型コロナウイルス感染症における感染症法上の位置づけが5類となり、約1年半が経過しました。様々な行動制限が緩和されたことで、コロナ禍以前の日常が戻ってきた、と感じることも多くなってきたのではないのでしょうか。

全国社会教育研究大会についても、令和4年度の広島大会、令和5年度の宮崎大会は3日間の対面形式で開催されるなど、改めて人々が集い、交流する場の重要性を感じた大会となりました。

一方で、新型コロナウイルス感染症の流行が長期化したことは、社会に様々な変化をもたらしました。人と人のつながりを保つことが難しくなったことで、社会的な孤立の問題が一層深刻さを増すとともに、不登校や引きこもり、貧困、ヤングケアラーといった、子どもたちの健全な育成を阻む問題

が顕在化しています。

コロナ禍を乗り越えた私たちですが、より複雑化・多様化した、新たな地域課題に直面しています。そのような中、国の動向として、

令和5年4月には「こどもまんなか社会」を実現するために「こども家庭庁」が発足されるとともに、「こども基本法」が施行されました。社会全体で子どもに関する取組を進めるための体制が整備されています。

また、令和6年6月に取りまとめられた「第12期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理」においては、社会教育の重要性が様々な分野で認知され、その担い手も多様化するなど社会教育の裾野が拡大する中、社会教育人材が地域住民の学習活動支援を通じて、人づくり、つながりづくり、地域づくりにおいて果たすべき役割は、今後も重要性が増すだろう

と示されています。社会教育人材は今後、多様な担い手（主体）と連携しながら、既存の活動を更に発展させていくうえで欠かせない人材となっていくでしょう。

本大会ではスローガンを「**彰往考来**」人をつくり人をつなぎ地域をつくる 未来の社会教育」としておきます。「彰往考来」には「過去をあきらかにして未来を考える」という意味があるそうです。後に水戸藩主となる徳川光圀公は、明暦3年（1657）に史局を設けて大日本史編纂事業に着手いたしました。水戸藩主就任後の寛文12年（1672）に、この史局を「**彰考館**」と名付けました。彰考とは晋代の杜預「左氏伝」の序にある「**彰往考来**」に拠ったものとされています。「彰往考来」の考え方は、新たな課題に直面している今の時代にこそ非常に重要になってくるのではないのでしょうか。

また、研究主題を「誰一人として取り残さない社会を目指す社会教育のあり方」子どもたちの健全な成長を支える」とし、社会的包摂を意識しつつ、次代の社会を担う「子どもたち」の育成に焦点を当てた構成とさせていただきます。

記念講演・シンポジウムといった全体会や、5つのテーマを設定させていただいた分科会での協議をとおして、「地域が抱えている課題とは何か」「新たに連携できる地域資源はないか」「社会教育委員として何ができるだろうか」といった視点を持ちながら、改めて地域に目を向けるきっかけとなりますと幸いです。

ここ茨城の地に全国から多くの方々が集い、活発な意見交換が出来ますよう、皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

ご案内

第66回全国社会教育研究大会茨城大会

第55回関東甲信越静社会教育研究大会茨城大会

第10回関東近県生涯学習・社会教育実践研究交流会

しょうおうこうらい

彰往考来 ～人をつくり 人をつなぎ 地域をつくる 未来の社会教育～

- 研究主題 誰一人として取り残さない社会を目指す社会教育のあり方
～子どもたちの健全な成長を支える～
- 会場 10月23日(水) 茨城県水戸生涯学習センター(水戸市三の丸1丁目5番38号茨城県三の丸庁舎3階)
10月24日(木)・25日(金) 水戸市民会館(水戸市泉町1丁目7番1号)
- 大会日程

第1日 10/23 (水)			14:00		15:30		16:00		17:30												
					全国社会教育 委員連合 理事会				都道府県・ 政令指定都市 社教連等事務局 担当者会議												
第2日 10/24 (木)	10:00		11:00		12:30		13:00		14:00		15:20		15:30		16:50		17:00		18:30		
			全国社会教育 委員連合 総会		受付		全体会														
					分科会 打合せ		歓迎 アトラク ション		開会行事		記念講演				シン ポジウ ム		開会行事				情報交換会
第3日 10/25 (金)	9:00		9:30		11:50																
	受付		分科会 (全5分科会)																		

●分科会

分科会	テーマ
1	地域と学校の連携・協働
2	家庭教育の充実支援
3	若者の主体的活動の促進
4	社会的包摂の実現
5	社会教育委員の役割

●最新情報(茨城県生涯学習情報提供システム「茨城の生涯学習」)

https://www.gakusyu.pref.ibaraki.jp/lifelong-learning/koryukai_2024

最新情報



●大会参加費 5,000円/人(大会資料代等)

●大会申込

<https://va.apollon.nta.co.jp/kyoiku66-ibaraki>

大会申込



問 い 合 せ 先

茨城県教育庁総務企画部生涯学習課
☎ 029-301-5318

北から南から

私のつぶやき



青森県社会教育委員
連絡協議会
会長 白川喜代美

今日の社会教育は弱体化しており復活再構築が課題である。今こそ社会教育の原点に立ち返り、これまで社会教育関係者が脈々と築いてこられたその実績と成果が地域住民の高い評価と指示を得られてきた。不易と流行で表すと今日の社会教育は流行（地域創生）が主流になっていくような気がする。例をあげると地域の活性化のために社会教育は何ができるかと言う話をよく聞く。生涯学習で学んで身につけた知識や技能を地域に生かす人材の育成は大賛成ではあるが不易の面（本来の社会教育事業）が置きざりになっており、原点に立ち返る時ではないかと悩んでいる。人々が自己の意志に基づき自己に適した方法、手段で行われるものであり、人々の豊かな学習機

会に対応する社会教育こそ一丁目一番地である。幼児教育、在学青少年教育、家庭教育、青少年教育、成人教育、婦人教育、高齢者教育、文化・芸術、スポーツ等が今どんな状況でしようか。また、公民館、図書館、博物館、社会教育関連施設、社会教育関係団体等の機能が十分に生かされているのだろうか。社会教育の理念がブレることなく時代の対応と検証が今急務であると思うのだが。地域創生（流行）は学びを通して一人ひとりが成長し、学び（生涯学習）を媒介として人と人がつながる、それらを通して生き甲斐のある人生や住みたいと思うまちを自らの手で創っていく、それを促す働きかけが社会教育の仕事であると思うのだが。昭和三十八年に全国社会教育委員連絡協議会設立から六十一年。社会教育委員の研修の場である全国、地区ブロック、県、市町村の会議や研究大会への出席率が低いのはなぜか。社会教育委員としての志や熱意など資質の面に課題が残る。社会教育の長所を生かし、社会教育領域の確実な定着と推進が必要である。社会教育はすばらしい、必要だね。と思われる事業展開や社会教育人として役に立ちたいと思う今日この頃です。

学びを地域に活かす活動を



山梨県社会教育委員
連絡協議会
会長 加藤 重義

1. 社会教育委員との出会い
幼少の頃、養蚕や炭焼などに労を惜しまず働いていた両親。熱心に授業をしてくださった先生。出会道に導いてくださった先生。出会いや思い出は人生の宝物である。それゆえ上野原市より社会教育委員の依頼があったときも「勉強させてください」と二つ返事でお受けした。

2. 学びを地域に活かす
山梨県生涯学習課では高齢者の生きがいづくりの学校「山梨ことぶき勸学院」を開校している。私も十年前にこの学校に入学した。月二回の講義、午後は習字や合唱のクラブ活動など、多くの学び、友・思い出を得たかけがえのない二年間の学校生活だった。私の「学びを地域に活かす」の考えは、ここで培ったといっても

過言ではない。友も地元でいきいきサロンを立ち上げたと聞く。私も現在社会教育委員の取りまとめ役を担っている。

3. 県社教委連として
二年前の第五十三回関東甲信越静社会教育研究大会山梨大会では、計画・準備と山梨県社会教育委員連絡協議会をあげての開催で大変だった。しかし、学ぶことが多く主催者一同で喜びを分かち合うことができた。関係者の皆様には、改めて感謝申し上げます。
私が会長として大切にしていることは次の四つである。

- ・ 研修会の機会を作ること
- ・ 情報交換の場を作ること
- ・ 他団体との関係づくり
- ・ 関プロへの積極的参加

人生百年時代を迎え、学校で学んだことだけでは、人生を豊かに送ることは困難である。そのため生涯を通して主体的に学び、夢や希望をもち、他者と協働し、自ら幸せな人生を切り拓いていく人々が満ち溢れる人づくり地域づくりが求められている。その実現のキーマンは社会教育委員であると考える。今後も会長として、出会いや学びを地域に活かす活動を大切に仲間と共に歩んでいきたい。

「共助の心」を育む 社会教育を目指して



三重県社会教育委員
連絡協議会
会長 山口 恵照

猛威を振るった新型コロナウイルス感染症は、三重県でも大きな影響がありました。人と人との繋がりを大切にする私たち社会教育委員の活動は大きく制限され、委員それぞれが様々な工夫を重ねて繋いできました。その後、制限が解除されると、社会教育活動を再び活気あるものとするために、三社連では新たな研究事業を計画しました。具体的には令和4年度から令和6年度までの3年間、「社会教育による共助の心を育むひとづくり」を目標に掲げ、その達成に向けて取り組んで参りました。

1年目は「地域コミュニティの核となる公民館等施設の活性化」に向けて活動を行いました。「地域における公民館のこれから」という題で東京大学の牧野教授にご講演いただき、「地域コミュニティの弱体化」の現状を解決するため、公民館の役割や活動を学びました。2年目は「地域学校協働活動の推進」を目指しました。県内の社会教育委員が集う「全体研修会」を行い、地域の教材について研究し、それを活かして社会教育委員が小・中学生たちに授業を行うという実践発表を行いました。県内の社会教育委員たちにも「地域学校協働活動」のイメージが沸いたことで、県内各地で様々な実践が行われました。そして3年目にあたる本年度は、「社会教育関係団体の活性化と団体間の連携促進」を目指し、社会教育委員だけでなく他の立場で社会教育に携わる人々、団体とのネットワークの強化を図ります。市町を超えて社会教育委員と公民館等施設の職員、行政の職員が一緒に学ぶ研修を多く実施し、活動を共にする中で、同じ方向を目指す仲間であるという意識を高めることで、「繋がり」の力が生まれることを目指します。

新型コロナウイルス感染症対策によって一時、繋がりが希薄になってしまったことで社会教育の在り方を改めて振り返る好機と捉え、三重県社会教育をより一層充実したものにしていきたいと考えております。

新型コロナウイルス感染症対策

行動する 社会教育委員



鳥取県社会教育委員
連絡協議会
会長 川口有美子

県社会教育委員会議の建議
令和4年9月、建議「地域の特性を生かした持続可能なコミュニティ・スクールと地域学校協働活動に向けて」を行ったことは、これまでの県社会教育委員経験において大きな出来事であった。県内ではすでに全国的にみればコミュニティ・スクール(CS)の導入率は高かったものの、CSの認知度や理解度は決して高くはなく、導入校における取組状況に差もあつた。私は県社会教育委員会議長として、委員一丸となって調査(視察・ヒアリング)や協議、建議案の検討を行いたく、当時の委員の皆様にはご無理を申し上げた。しかしながら、「実際に現場に行けたことは本当によかった」との声は多く、建議という委員自らが教育委員会に対し意見を述べられたことも、社会教育委員のやりがい

感じる事ができたのではないかと、手前味噌ながらに思っている。建議の中には、現場の自助努力だけでは限界で、行政支援の充実について盛り込んだ。それを受けて、県教育委員会では事務局内の複数の課による「CSと地域学校協働活動プロジェクトチーム」が編成された。建議での提言内容が具現化され、感慨深く思っている。

コロナ禍の「学びを止めない」

コロナ禍の社会教育委員の「学びを止めない」対応にはとても悩んだ。当初はオンライン環境も整わず、県内の多くの市町村が会議のみならず研修の機会も失っていた。そこで、本協議会理事の皆様とも相談しながら、令和3年度末、県内で気運が高まりつつあった「地域学校協働」に関する書籍を購入し、県内全ての社会教育委員(県+19市町村)に1人1冊配布することとした。配布に際し、「学びを止めない」旨の会長メッセージを同封させてもらった。書籍が配布され、驚かれたようだったが、「学びを止めない」意味を理解いただけたと聞いている。

鳥取県では「行動する社会教育委員」を大事にしている。建議も「学びを止めない」も「行動する社会教育委員」の姿だと思う。

令和6年度全国社会教育委員連合表彰
受賞者一覧

本年度の「全国社会教育委員連合表彰」の受賞者が決まりました。
令和6年10月24日(木)、第66回全国社会教育研究大会茨城大会の開会行事の席上で、次の63名の方が表彰されます。
おめでとうございます。

表彰状受賞者(敬称略)

都道府県名 所属自治体 氏名

茨城県	福島県	山形県	秋田県	宮城県	岩手県	青森県	北海道
稲敷市	喜多方市	山形市	秋田市	大和町	岩泉町	つがる市	留萌市
小美玉市	田村	山口	伊藤	高橋	佐藤	岡本	太田
大平	弘一	由美	妙子	榮次	裕子	幸治	弘子
勇次							

栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県
日光市	鹿沼市	太田市	深谷市	東松山市	鎌ヶ谷市	八街市	奥多摩町	海老名市	田上町	南砺市	川北町	垂井町
柳原	齋藤	大島	野澤	峯	伊藤	山口	谷田	山田	吉澤	武田	寅若	安田
一興	陽子	政次	優	岩男	由美	伸治	美鈴	信江	和	雄一	雄一	正博

静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	指定都市						
函南町	碧南市	豊山町	伊勢市	守山市	長岡京市	茨木市	新温泉町	王寺町	和歌山市	米子市	出雲市	早島町	呉市	萩市	那河内村	香川県	伊方町	佐川町	太宰府市	那珂川市	白石町	諫早市	菊陽町	九重町	高千穂町	志布志市	指宿市	北九州市	相模原市	広島市	千葉市
富永	加藤	鈴木	竜田	中川	田中	三川	西岡	黒田	岩橋	小谷	森山	田中	原	大田	藤田	時岡	山本	新田	安河内	柴田	大串	平山	紫藤	高倉	野尻	下戸	堀口	宮本	石川	松本	三野
和彦	榮治	育生	和代	法夫	久美子	俊樹	安雄	ゆかり	延直	幸久	睦子	良治	俊三郎	忠男	正治	晴美	忠男	哲子	興二	秀子	京子	和昭	登美	泰弘	勝一	和代	利江	直子	宮純一		

社教情報 No.91

令和6年9月発行

社会教育の明日を拓く

特集テーマ 青少年の社会参加と社会教育委員

《巻頭論文》日本の青少年の社会参加の問題を考える

千葉大学名誉教授・千葉敬愛短期大学名誉教授 明石 要一

《特集》大本地由佳、板野 彰彦、松田 文子、雲尾 周、山口 洋典

《この人に聞く》元飯塚市教育長 森本 精造氏 取材 大島 まな

《社会教育委員の活動》佐々木義信(西海市)・秦野玲子(相模原市)

《答申・提言》西宮市社会教育委員会議答申

「今後の生涯学習の推進と社会教育のあり方について」

石川 賀一

《社会教育委員Q&A》「連携」をあらためて考える

伊藤真木子

《社会教育委員リレートーク》千葉県から埼玉県

編集・発行 (一社) 全国社会教育委員連合

社教情報

No.91



理事会・総会報告

●令和5年度

第4回理事会・第3回総会の開催
令和5年度第4回理事会は、令和6年3月1日(金)の午前に開催されました。また、第3回総会は同日の午後に開催されました。

総会では、文部科学省総合教育政策局地域学習推進課・榎木奨悟課長補佐に「最近の社会教育施策の動向」と題してご説明をいただきました。

理事会及び総会の議題等は次のとおりでいずれも承認されました。

【議事】

第1号議案 令和6年度事業計画

(案・収支予算(案)について

第2号議案 第66回全国社会教育

研究大会(茨城大会)について

第3号議案 第67回全国社会教育

研究大会(岩手大会)について

第4号議案 第68回全国社会教育

研究大会(大阪大会)について

【報告】

○第65回全国社会教育研究大会(宮崎大会)について

●令和6年度

第1回理事会・総会の開催

令和6年度第1回理事会は、令和6年3月1日(金)の午前に、また、第1回総会は同日の午後に開催されました。

総会では、文部科学省の望月楨総合教育政策局長に来賓としてご臨席いただき、ご祝辞をいただきました。

理事会及び総会の議題等は次のとおりでいずれも承認されました。

【議事】

第1号議案 令和5年度事業報告・決算報告について

第2号議案 第66回全国社会教育

研究大会(茨城大会)について

第3号議案 第67回(全国)全国社会教育研究大会(岩手大会)について

第4号議案 第68回全国社会教育

研究大会(大阪大会)について

第4号議案 第68回全国社会教育

研究大会(大阪大会)について

【報告】

1 第65回全国社会教育研究大会(宮崎大会)について

2 会長及び常務理事の職務の執行状況について

事務局だより

今後の会議予定

今後の役員、会員、事務局を対象にした会議の予定は次のとおりです。ご予約をお願いいたします。

○令和6年度第2回理事会

期日…令和6年10月23日(水)

時間…14時から15時30分まで

会場…茨城県水戸生涯学習センター

内容…第67回全国社会教育研究大会(岩手大会)の審議など

○令和6年度第2回総会

期日…令和6年10月24日(木)

時間…10時から11時まで

会場…水戸市民会館

内容…第67回全国社会教育研究大会(岩手大会)の審議など

○都道府県・政令指定都市社会教育委員連絡協議会等事務局担当

者会議

期日…令和6年10月23日(水)

時間…16時から17時30分まで

事例発表①…奈良県社会教育委員

連絡協議会事務局 西 英樹

事例発表②…岩手県社会教育連絡協議会事務局 津久井絵理子

会場…茨城県水戸生涯学習センター

内容…都道府県等社会教育委員連絡協議会の運営と活動

○令和6年度第3回理事会

期日…令和7年2月21日(金)午前

会場…日本弘道会ビル 講堂

内容…令和7年度事業計画及び収支予算(案)、第67回全国

社会教育研究大会(岩手大会)の審議など

○令和6年度第3回総会

期日…令和7年2月21日(金)午後

会場…日本弘道会ビル 講堂

内容…令和7年度事業計画及び収支予算(案)、第67回全国

社会教育研究大会(岩手大会)の審議など

○令和7年度第1回理事会

期日…令和7年5月中旬又は下旬の午前予定

会場…日本弘道会ビル 講堂(予定)

内容…令和6年度事業報告及び決算報告、第67回全国社会教育研究大会(岩手大会)の審議など

○令和7年度第1回総会

期日…令和7年5月中旬又は下旬の午後予定

会場…日本弘道会ビル 講堂(予定)

内容…令和6年度事業報告及び決算報告、第67回全国社会教育研究大会(岩手大会)の審議など

令和6・7年度社会教育研究大会 開催地等一覧(令和6年10月2日現在)

		令和6年度開催地・日程	令和7年度開催予定地・日程
全国大会		第66回全国社会教育研究大会(茨城大会) 水戸市民会館ほか 令和6年10月23日(水)～25日(金)	岩手県盛岡市 10月29日(水)～31日(金) 盛岡市民文化ホールほか
地区別研究大会	北海道	第63回北海道社会教育研究大会(オホーツク大会) オホーツク・文化交流センター(網走市) 令和6年11月1日(金)～2日(土)	檜山管内 開催予定地・日程確認中
	東北	令和6年度東北地区社会教育研究大会(青森大会) リンクモア平安閣市民ホールほか(青森市) 令和6年11月14日(木)～15日(金)	岩手県 全国大会と合同開催
	関東甲信越静	全国大会と合同開催 茨城県水戸市	神奈川県横浜市 11月20日(木)～21日(金) 関内ホール大ホールほか
	東海北陸	第55回東海北陸社会教育研究大会(富山大会) 富山県民会館(富山市) 令和6年10月10日(木)～11日(金)	岐阜県瑞穂市 10月3日(金) こころかさなるCCNセンター、 瑞穂市民センター
	近畿	令和6年度近畿地区社会教育研究大会(京都大会) 京都テルサ(京都府民総合交流プラザ)(京都市) 令和6年9月6日(金)	和歌山県和歌山市 9月5日(金) 和歌山県民文化会館ほか
	中国・四国	第46回中国四国社会教育研究大会(徳島大会) あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)(徳島市) 令和6年11月28日(木)～29日(金)	山口県山口市 11月20日(木)～21日(金) 山口県総合保健会館
	九州	第54回九州ブロック社会教育研究大会(鹿児島大会) カクイクス交流センター(かごしま県民交流センター)、 鹿児島市中央公民館(鹿児島市) 令和6年11月7日(木)～8日(金)	福岡県福岡市 11月13日(木)～14日(金) アクロス福岡
	政令指定都市	令和6年度指定都市社会教育委員連絡協議会 京都市 オンライン会議 令和6年7月5日(金)	神戸市 10月下旬～11月下旬 オンライン会議

バックナンバーのご案内 **社教情報**

A5判 64頁/定価：第89号まで328円、第90号から360円/(年2回発行)

全国でご活躍の社会教育委員の皆様を結ぶ、全国各地の社会教育委員の活動の交流と研修の資料としてご活用ください。

- 第90号(令和6.2) 「社会教育に関する諸計画立案と社会教育委員」
- 第89号(令5.9) 「家庭教育支援と社会教育」
- 第88号(令5.2) 「多文化共生と社会教育」
- 第87号(令4.9) 「地域防災と社会教育」
- 第86号(令4.2) 「地域学校協働活動と社会教育」
- 第85号(令3.9) 「“社会教育委員の新たな流儀～社会教育委員設置の通知から75年～”
- 第84号(令3.2) 「新しい生活様式下における社会教育委員と関係行政・機関の対応と課題」
- 第83号(令2.9) 「社会教育士(称号)の創設とこれから」
- 第82号(令2.2) 「社会教育委員の研修」
- 第81号(令元.9) 「社会教育研究大会の企画と運営」
- 第80号(平31.2) 「地域で活躍する社会教育委員」



編集・発行 (一社) 全国社会教育委員連合